

令和7年度

第2回

代議員会

<http://shochueiken.com/>



岐阜県小中学校英語研究部会

令和8年2月25日(水)

9:45~10:20 [予定]

※9:30よりミーティング開始

zoomによるオンライン会議

※表示名は【所属校 お名前】でお願い致します。

第2回代議員会

令和8年2月25日(水)

*zoomによるリモート開催

時間	内容・会場
9:30	<p>ミーティング開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示名は【所属校 お名前 (例) 関市立下有知中学校 田中大輔】 <p>【開始まで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9:45までは、カメラOFF・マイクOFF(ミュート) <p>【開始してから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラは、可能な方はON・マイクOFF(ミュート) ・発言や議決の際は、カメラON・マイクON ・トラブルがありましたら、主務者までチャットでお知らせください。 <p>【終了後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会を行います。本部役員、事務局員の先生方はお残りください。
9:45	<p>全体会開始 司会【主務者：田中 大輔 関市立下有知中学校】</p> <p>1 部会長あいさつ(5分) 【中村 行雄 中津川市立南小学校】</p> <p>2 本年度の研究報告(10分) 【小学校：松田 洋和 多治見市立北栄小学校】 【中学校：後藤 健一 大垣市立西部中学校】</p> <p>3 本年度の事業内容(3分) 【濱 正人 池田町立池田中学校】</p> <p>4 予算、旅費など(2分) 【高木 勇希 関市立旭ヶ丘中学校】</p> <p>5 来年度の活動について(10分) 【田中 大輔 関市立下有知中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ways No.66の配付について ・R8岐阜大会, R9東海北陸大会岐阜県大会について ・R8年度研究協議委員会について <p>6 その他(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答
10:20	<p>全体会終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会を行います。本部役員、事務局員の先生方はお残りください。 ・本部役員、事務局員以外の先生方は、各自でご退出ください。
10:40	

不易と流行 ~指導と評価の一体化~

1. 令和7年度の研究の方向と内容

第1回目の研究協議会で研究員・研究協議員の皆さんとブレインストーミングをした内容です。

岐阜県の先生方が知りたいのではと予想すること

- 英語の単位時間における流れが分からない。
- 指導案の行間がつかみにくい。
(小ワザ, chants, songs など)
- ALTとの team teaching が分からない。
- 中間指導の内容, 方法が分からない。
- デジタル教科書の有効な使用方法が分からない。
- ICT 機器の活用方法が分からない。
- 単元終末における言語活動の設定方法が分からない。
- 5, 6年生の評価はどうするとよいのか。
- 指導に生かす評価の方法は何をするとよいか。
- 記録に残す評価の方法が分からない。
- 設定した基準 (A, B, C) や規準の妥当性を何で判断するのか分からない。
- パフォーマンステストの方法・内容が分からない。
- 英語が嫌だという児童をどうしたらよいのか。

小中英研に参加している先生が知りたいこと

- 教科書の分析の仕方について。
- 単元指導計画の作成方法について。
- 児童に求める単元終末の姿について。(内容, 言語材料)
- 終末の言語活動は教科書のままだがよいのか?
- 児童が本当に言いたい内容を言えるようにするには, どんな指導が必要なのか。
- 「楽しく」と「学び」を両立させる授業について。
- 授業のテクニックをもっと知りたい。
- 指導内容の差をなくす方法について。(教師間)
- 記録に残す評価の方法, 内容, タイミング, 基準
- 振り返りはどのような方法, 内容があるのか。
- 児童の英語力の差をどうしたらよいのか。
- 話したい内容をどのようにもたせるのか。
- 話したいことを話すことができるようにするにはどうするとよいのか。

あなたの「困っていること」「知りたいこと」と同じものはありましたか。今年度の小学校部会の研究協議会は、岐阜県内で小学校外国語科の授業を行う先生方の「困り感」や「知りたいこと」の解決に繋がるものにしようと考えました。

小学校では、昨年度から、新しい教科書となりました。県内では4つの教科書が扱われています。上記の「困っていること」「知りたいこと」の解決につながるきっかけになるものにしようというコンセプトで、今年度は、以下のような資料を作成しました。

・単元指導計画作成

New Horizon Elementary 5 『Unit5 Let's go to the zoo.』
Blue Sky elementary 6 『Unit1 I'm from Tokyo, Japan.』
Junior Sunshine 6 『Lesson5 Where do you want to go?』
Here We Go! 6 『Unit8 What do you want to be?』

どの教科書でも扱われている汎用性の高い話題や内容の単元を選択しています。

・授業づくりに関わる Q&A 集

Q1:単元指導計画の作成について Q2:外国語科のねらいの書き方
Q3:ALTとの team teaching の方法 Q4:学ばせたい表現の input の仕方
Q5:デジタル教科書の活用方法 Q6:よい学習課題の在り方 Q7:「話す力」を高める裏技

2. 単元指導計画のここに注目してほしい!!

① 指導と評価の一体的な充実のために

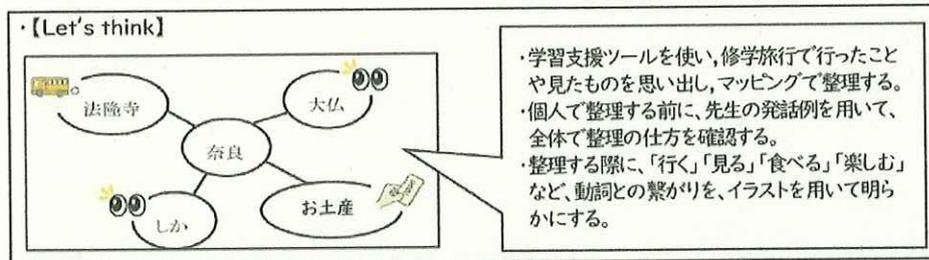
指導と評価の一体的な充実とは、「ねらいの中心事項を指導していること」と「指導したことを適時・適切に評価していること」です。上記のことを達成するために指導計画を作成する際の手順と参考にした文献資料は以下になります。

手順	参考文献
① 単元の指導目標を確認し、評価規準を設定する。	指導書, 学習指導要領解説, 指導と評価の一体的な充実に関わる参考資料 岐阜県版到達目標(岐阜県教育委員会 HP 参照)
② 評価規準をもとに、単元終末の具体的な発話・対話例を考える。	指導書, Ways (R6年度, R7年度)
③ 単元の指導目標を達成するために、単位時間のねらいを焦点化する。	指導書, 指導と評価の一体的な充実に関わる参考資料
④ ねらいの達成に関わる具体的な指導の場, 指導の内容を考える。	指導書, Ways (R5 年度 R6年度, R7年度), 指導と評価の一体的な充実に関わる参考資料
⑤ ねらいの達成に関わる具体的な評価の場, 評価の内容を設定する。	指導書, Ways (R5 年度 R6年度, R7年度), 指導と評価の一体的な充実に関わる参考資料

② 指導のコツを明らかにした単位時間の指導案

What(何をしたらよいのか)だけではなく、How(どのようにしたらよいのか)を具体的に明記することで、多くの先生方と、指導方法のコツを共有したいという思いで作成しました。

(例) 情報をスムーズに発話に繋げるための整理の仕方 (※Here We Go!6 Unit8 第4時参照)



教科書では、マッピングができるページがありました。マッピングは、伝えたい内容を整理することに有効です。特に内容を広めたり、深めたりすることができます。

一方で、情報過多になりすぎて、整理するためにマッピングを用いても、その後の発話で、何をどのように伝えればよいのか困ってしまう場面があることも予想できます。その為、「言語活動に繋がるようにマッピングを通して整理をする」ためには、どのような指導のコツがあるのかということについて記載しています。

このように、全単元指導計画には、全単位時間の指導案に What(何を), How(どのように) 指導するとよいのか、具体的に示してあります。その指導方法のコツを共有するのはもちろんのこと、Why(何のために)を読み解きながら活用していただくと有り難いです。

今年度は、水野幸弘校長から「明日から使える指導のコツ」を実践的に学ぶことができました。また、G長の先生方は、ご多用の中、研究員の先生と何度もやり取りしながら修正、まとめをしていただき、本当にありがとうございました。研究協議会にご尽力いただいた全ての先生方に深く感謝を申し上げます。 小学校部会 研究部長 松田 洋和

今さらだけど聞いておきたい!! 外国語科指導に関わるQ&A

Q1. 単元指導計画はどのように作成したらよいですか。

A. R4年度Waysに以下のような資料が記載してあります。(※チェックリスト付き)

小学校 外国語科 単元作成の流れ

【作成の流れ】

教科書や教材を参考に、単元指導計画を作成する。単元指導計画は、単元の目標、単元のねらい、単元の活動、単元の評価の観点などを明確にし、単元の学習の流れを整理し、単元の学習のねらいを達成するための具体的な活動や評価の方法を記載する。

このページでは、単元指導計画を作成するための流れを解説します。

教科書を使って楽しい授業ってどうやって実現したいかな?

単元の流れってどうやって決めるの?

1単元1時間か、何時間かしたいかな?

単元のゴールの活動に、単元時間をどうつなげるかな?

Step1 指導内容を確認

① 話題・目標の確認

教科書の話題や目標を確認し、単元のねらいや活動のねらいを明確にする。

② 表現の確認

教科書の表現を確認し、単元のねらいや活動のねらいを明確にする。

指導内容をつかむカギ

- 教科書の内容を確認しよう!
- Listeningコンテンツと目標と後半の表現が一致!
- 教科書や教材指導書(※本)に活動が載っています!

Step2 単元終了の言語活動を考える

まずは単元終了のページを見てみよう!

教科書に載っている活動や目標を確認しよう!

「見たいページ」や「やりたい活動」を確認しよう!

教科書に載っている活動や目標を確認しよう!

「見たいページ」や「やりたい活動」を確認しよう!

単元終了の言語活動を考えるカギ

- 教科書の活動に「ちよとせ」を付けよう!
- 「ちよとせ」を付けることで、「目的」の達成を促すことができる。
- 「ちよとせ」を付けることで、単元のねらいや活動のねらいを達成することができる。
- 「ちよとせ」を付けることで、単元のねらいや活動のねらいを達成することができる。

Step3 単元終了の活動までの指導計画

① 単元終了の児童の対話を描く

単元終了の対話を考えるカギ

- 単元のゴールをイメージし、児童が何を話そうかと想像する。
- 単元の指導目標に合った内容を考える。
- 表現材料やそのほかの指導事項も明確にする。

② 単元導入【第1時】

導入の1時間のカギ

- 単元のゴールに児童が興味するものを見せ、ページで示す。
- 児童が「やってみよう」と思うように魅力的に示す。
- 児童が単元の活動材料にも興味を持てるように。

③ 単元前半【第2・3・4時】

単元でやりたい表現や活動に身に付ける

→ 目的をもった授業や言語活動をしながら身に付ける

単元前半の授業のカギ

- 教科書の表現やコンテンツを活用し、児童が興味するものを見せ、ページで示す。
- 児童が「やってみよう」と思うように魅力的に示す。
- 児童が単元の活動材料にも興味を持てるように。

④ 単元後半【第5・6時】

身に付けた表現を用いて目的に合わせて自分の考えを伝え合う時間

単元後半の授業のカギ

- 身に付けた表現を用いて目的に合わせて自分の考えを伝え合う時間。
- 児童が興味するものを見せ、ページで示す。
- 児童が「やってみよう」と思うように魅力的に示す。
- 児童が単元の活動材料にも興味を持てるように。

⑤ 単元終了【第7・8時】

Step2で考えた活動を行う。

楽しい・魅力的な英語の授業 単元作成 Check List

- 教科書の原簿で話題と目標を確認する
- 指導書や指導書で表現を確認
- 単元終了のページを参考に単元終了の活動内容や活動形式を考える
- わくわくする・話したくなるような目的の設定
- 経験解決型の活動になっている
- わくわくする表現を用いた単元終了の児童の対話を想定
- 児童がやってみようと思う単元の導入を考える
- わくわくする表現も、目的のある魅力的な言語活動を身に付けてもらえる単元導入の授業がある
- 身に付けた表現を用いて自分の考えを伝え合う活動で単元終了の活動に近づいていく単元後半の授業がある
- ICT 機器でできることは準備する

Q2. 外国語科のねらいは、どのように書いたらよいですか?

A. 国立教育研究所の「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」を読みましょう。

- ・評価規準の定め方
- ・三観点の評価規準の書き方
- ・単元の評価計画の立て方
- ・単元時間のねらいの書き方
- ・指導に生かす評価と記録に残す評価の具体



話すこと[やり取り]

知識・技能	～について、～を用いて、～を聞いたり言ったりすることができる。
	自分ことや相手のことについて、can を用いて、得意なことを聞いたり言ったりする (話題) (言語材料) (内容) ことができる。
思考・判断・表現	(目的)～するために、(話題)～について尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
	お互いのことをよく知るために、得意なことについて、自分の思いを交えて伝え合うこ (目的) (話題) (内容) とができる。
主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現と一体的に見るため、思考・判断・表現の内容で語尾を変える。
	お互いのことをよく知るために、得意なことについて、自分の思いを交えて伝え合おう (目的) (話題) (内容) としている。

話すこと[発表]

知識・技能	～について、～を用いて、～を話すことができる。
	自分ことや相手のことについて、can を用いて、得意なことを話すことができる。 (話題) (言語材料) (内容)
思考・判断・表現	(目的)～するために、(話題)～について、(内容)～を話すことができる。
	お互いのことをよく知るために、得意なことについて、伝えようとする内容を整理した上 (目的) (話題) で、自分の思いを交えて話すことができる。 (内容)
主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現と一体的に見るため、思考・判断・表現の内容で語尾を変える。
	お互いのことをよく知るために、得意なことについて、自分の思いを交えて話そうとし (目的) (話題) (内容)

Q3. ALTとの team teaching は、どのような方法がありますか。

A. 課題意識をもたせる、音声指導、発話モデルの3つができる。

【導入】本時の話題や伝え合う目的を示す。(一例)



I went to Kyoto in this summer.
I watched Maiko.
They are beautiful.
What did you do in this summer?
I want to plan for next summer!

【話題】夏の思い出
【言語材料】過去形
【内容】場所、したこと、感想
【目的】ALT が次の夏の計画の参考になるように。

【展開】

① ねらいとなる表現の習得を図る。(知識・技能が中心の授業)



Repeat after me.
“Orange”
“What fruits do you like?”
“I like ~.”

中間指導の場で、表現や語彙に関わる児童の困り感や多くの児童の共通のエラーを取り上げ、ALT と言い方に慣れる時間を位置付ける。

② 内容面を深める追加情報を伝える。(思考・判断・表現が中心の授業)



This is Taj Mahal.
I like world heritage sites.
I want to see world Heritage in Japan.

中間指導の場で、ALT から新たな情報を追加する。そうすることで、その後の交流において、さらに内容面を深めたり、広めたりできるようにする。

③ 表現を豊かにするためのモデル提示をする。(思考・判断・表現が中心の授業)



Mr. OO is very nice.
He said “This is a world heritage site.”
“It’s a beautiful Grave.”

事前の交流で見つけた本時(本単元)のねらいとなる良いモデル(表現)を、中間指導の場で取り上げ、ALT と言い方に慣れる時間を位置付ける。

④ 交流中のチャレンジコースの相手となる。(個別最適な学び)

Good job!
I want to see Taj Mahal, too.
I want to take pictures!!



ALT にフィードバックをお願いしておく。「感想を返す。」「よい内容や表現を伝える。」「エラーがあったら正しい表現を教える。」などがある。

【終末】

① 「ALT に～を伝えよう」という課題であれば、最後は ALT に伝えてコメントをもらう。

課題解決のために ALT に伝える場を設ける。その後、ALT は児童にフィードバックする。

Q4. 学ばせたい表現は、どのように input させればよいですか。

A. 基本は、言語活動を通して知識・技能を学びます。しかし、ねらいとなる表現だけを取り出して練習することも、必要に応じてOKです!

但し、機械的にリピートさせるだけではなく、少し頭を使ったドリルを行うとよいでしょう。以下に『Mechanical drill』と『Meaningful drill』という2つの方法を紹介します。

Mechanical drill	内容を考えることなく、機械的に英語を言う練習 (単純リピート) (みんな一緒のことを言っている)
Meaningful drill	単なるパターン化された繰り返し練習ではなく、条件設定があり、少し考えながら英語を使う練習 (個々に内容が違う) (条件に合わせている)

※これらは drill の例であり、言語活動ではありません。

【Mechanical drill】



Repeat after me.
"A park."
"See a park."
"You can see a park."

クラス全体で、一斉に、ALT の言ったことをそのままリピートして、言い慣れをする。文を区切ってリピートさせたり、単語を変えたりして行うことができる。

【Meaningful drill】



You can see a park from my house.
What can you see from your house.
Let's tell your friend.

習得させたい表現に関わって、個々に内容を考えることができるよう、ちょっとした条件や場面を付け加える。そうすることで、少し頭を使いながら英語を使う。

<条件や場面のコツ>

- ・相手を変える (親から欲しいもの→サンタクロースから欲しいもの)
- ・視点を変える (学校から見られる→家から見られる→通学路で見られる)
- ・対象を変える (日本で、できること→岐阜県で、できること→〇〇市でできること)

Q5. デジタル教科書は、どのように活用したらよいですか。

A. 教科書は教材なので、リスニングテストではありません。単元の終末のパフォーマンスのために「何を鍛えたいのか?」「何が鍛えられるのか?」という目的をはっきりとさせることが大切です。Q4で取り上げた Meaningful Drill を使ってみるとよいです。

<デジタル教科書を使うまでの教師の準備>

- ① 単元のデジタル教科書の内容を全部聞く。
- ② 以下の3つの中からどの目的に使えるのかを考える。

- ・基本的な表現への慣れ親しませることに有効なのか
- ・対話へ繋げる表現を慣れ親しませることに有効なのか
- ・内容面を発想させるために有効なのか

- ③ 扱われている写真や内容に対して、予備知識があった方がよいのであれば、追加の情報を写真等で準備する。
- ④ 事前に質問をして、聞く目的をもたせる。

Why does she show this picture?

What can we do in her town?

- ⑤ デジタル教科書を聞き取った後に、表現面を鍛えるのであればドリルを行う。内容面を考えさせたいのであれば「自分だったら何を伝えたい?」と発問をする。

The screenshot displays a digital textbook page with a grid layout. It includes a table with columns for 'Lesson', 'Activity', and 'Check'. Below the table, there are several sections of text and images, including a photo of a person and some dialogue examples. The interface is clean and organized, typical of a modern educational software application.

令和4年度の Ways に具体的な事例が載っています。教師と児童のやり取りの具体と指導のポイントも載っています。

- ① どの場面においても、扱うデジタル教材にねらいをもつこと
- ② 児童が楽しくできるように工夫すること
- ③ 単元終末や単位時間のめざす姿につながるように目的をもつこと

この3点を大切にしています。

Q6. 外国語科は、どのような課題にすればよいですか？

A. 問題解決的な課題になるとよいです。単元で習得させたい表現を使うことで、ある目的が達成できる課題を設定することが大切です。一方で、「好きなものを伝えて自己紹介をしよう」のように、習得させたい表現を使うことそのものを目的としたものは「課題」とは呼ばず「活動目標」と言います。

(例) 自分の街を紹介する単元

第2時 知識・技能が評価の中心となる時間

ねらい

〇〇市のよいところが再発見できるように、街にある素敵な場所をたくさん挙げる活動を通して、“We have ~.”を用いて、〇〇市にあるものを伝え合うことができる。

単位時間の終わりの児童の対話イメージ

S1: What do you have in 〇〇city?

S2: We have a nice noodle shop!

This is うま屋.

We have a nice park.

This is 虎溪 park.

問題解決的な課題案

〇〇市のおすすめの場所をたくさん伝え合って、〇〇市のよいところを再発見しよう。

(内容の方向付け)

(目的)

第3時 知識・技能が評価の中心となる時間

ねらい

クラスの仲間が興味をもちそうなおすすめの場所を選んで紹介し合う活動を通して、“We have ~.”に加えて“I like ~.” “You can ~.”を用いて、〇〇市にあるものとおすすめを伝え合うことができる。

単位時間終末における児童の対話イメージ

S1: What do you have in 〇〇city?

S2: We have a nice noodle shop!

This is うま屋. I like fried rice.

Do you like noodle?

S1: Yes, I do. / No, sorry.

課題案

仲間が「行ってみたい」と思うように自分のおすすめのところのよさが伝わる紹介しよう。

(目的)

(内容の方向付け)

Q7. 「話す力」は、どのように付けばよいですか？

A. 「言語活動を通して」力を付けることが基本です。しかし、学習活動全ての場面が「話す力」を付けていくチャンスと捉えることも大切です。

「言語活動」とは、学習指導要領に「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動」と明記されています。

そのため、授業のどの場面でも、簡単な対話・発話につなげていくことで、「話す力」が高まっていきます。

【挨拶の場面】



What's the date today?
Christmas is coming soon.
What do you want for Christmas?
I want a drone.
How about you?

- ✕ 単にルーティーンで日付を質問し答えさせる。
- ◎ 日付から、「クリスマス近いね！何が欲しい？」というように、簡単に話題を作って児童と対話をする。

【言語活動の場面】



What's this?
That's right! This is a convenience store.
I like mini stop because I like soft cream.
Which convenience store do you like?

- ✕ 単に言語活動で必要になる資料を順番に提示する。
- ◎ 提示した資料に関わって、児童が興味をもちそうな話題を投げかける。自分の気持ちが伝えられる“like” “want”等が使えるような対話内容であるとよい。

【机間巡視の場面】



※話題:どの国に行きたい
~児童の対話を聞く~
Oh, you want to go to America!
I want to go to America, too. I like basketball.
I want to watch NBA.
What do you want to do?

- ✕ 児童の到達度や理解度を見るような評価のためだけ。
- ◎ 児童同士の対話に自分も入って一緒に対話を楽しむというスタンスで机間巡視をする。内容に関わる質問を投げかけたり、自分のことを伝えたりして対話を深める。

研究の報告

中学校研究部長 後藤 健一 (大垣市立西部中学校)

1. 本年度の活動

令和7年度は、中学校で新教科書を使用し始めた年である。そこで、新教科書での「指導と評価の計画」と「記録に残す評価」の作成に取り組んだ。その際、令和7～9年度の3か年ですべての単元を作成するとともに、令和8年度岐阜県大会や令和9年度東海北陸大会につながるように、今年度の活動に取り組んだ。

【各単元で作成したもの】

- ・指導と評価の計画
- ・アウトプットの記録に残す評価 1題
- ・インプットに関わる記録に残す評価 1題
- ・展開案 県大会公開の授業案のみ (1年 Unit7, 2年 Unit5, 3年 Unit5)

【作成単元の3か年の見通し】

年度	作成単元	New Horizon			New Crown
		1年	2年	3年	
R7	・1学期前半の単元 ・県大会公開の単元	・U1-4 ・U7	・U1 ・U2 ・U5	・U1 ・U5	・1年 L1-4 の抽出単元 ・2年 L1-3 の抽出単元 ・3年 L1-3 の抽出単元
R8	1学期後半 ～2学期前半の単元	・U5 ・U6	・U3 ・U4	・U2 ・U3	・1年 L5-7 の抽出単元 ・2年 L4-6 の抽出単元 ・3年 L4-5 の抽出単元
R9	2学期後半 ～3学期の単元	・U8 ・U9 ・U10	・U6 ・U7	・U4 ・U6	・1年 L8-9 の抽出単元 ・2年 L7-8 の抽出単元 ・3年 L6-8 の抽出単元

「県大会公開の単元」は、以下の3つの単元であり、各主張点を明確にして、「指導と評価の計画」を作成した。

【岐阜県大会（岐阜地区）での公開する授業と主張点】

学年	公開する授業	主張点
中1	U7 An Online Tour of the U.K. Unit Activity	小中接続を生かして、即興的に発表する力を育成する指導の在り方
中2	U5 What design is good for everyone? Read and Think1	内容を整理して、自分の考えを発信する力を育成する指導の在り方
中3	U5 What makes a good leader? Read and Think 1, 2	社会的な話題について書かれた英文の内容理解をし、自分の考えを発信する力を育成する指導の在り方

県教委作成の「学習到達目標（例）」を参考にしながら、3年間を通して5領域をバランスよく指導する。今年度作成している単元の評価を行う領域は、以下の通りである。

【New Horizon 部会】

学年	単元	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	備考
1年	Unit1	ア		ア			県教委は、やり取りのみ
	Unit2	ア			ア		
	Unit3	イ		イ			
	Unit4	ア		ア		ア	県教委は、聞くことなし
	Unit7	ア, イ			ア		県教委は、やり取りイ&発表イ
2年	Unit1	ア			イ		
	Unit2	イ				イ	県教委は、発表&書く
	Unit5	ア		イ			
3年	Unit1		イ, ウ		イ		県教委は、読むことア&書くことイ
	Unit5		イ, ウ		ウ		

【New Crown 部会】

学年	単元	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	備考
1年	Lesson4	ア			ア		
2年	Lesson3		イ		イ		県教委は、書くことウ
3年	Lesson2		ウ			イ	

2. 本年度の研究について

○研究主題

これまでと同様、以下の研究主題のもと、研究を進めていきます。

「できた・分かった」を実感しながら、コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて～五領域における学習到達目標を明らかにし、言語活動の中でその到達を実感させる指導・評価の一体化～

○研究内容

以下の3点を研究内容に部会を運営していきます。

- ① 5年間の系統性を意識した指導と評価の計画の作成
- ② インプットとアウトプットのバランスの取れた「指導と評価の計画」の作成
- ③ 「4つの学習過程」を意識した授業づくり

○研究内容の具体①: 5年間の系統性を意識した「指導と評価の計画」の作成

小中5年間の系統性を意識して「指導と評価の計画」の作成に取り組んだ。そこで、小学校部会と一緒に、各単元の言語活動を話題ごとに整理した。それが、次ページの表である。そうすることで、指導する際に、「この既習事項を生かして指導しよう。」「この指導をしっかりやって、レベルアップさせよう。」ということを確認できると考えた。「指導と評価の計画」の1ページ目「5 本単元と関わりのある話題の未習単元・既習単元」は、この表をもとに、精選した単元を記載している。

【各単元の主な言語活動の話題に関わる5年間の系統性】

	自分自身に関わること	他者に関わること	場所に関わること	ものや文化に関わること	世界や社会問題に関わること
中3	SA3 ミニディベート SA2 活動報告 U0 夢中なこと	U5 理想のリーダー		SA1 日本・郷土文化 U2 エシカル商品 U1 ポップカルチャー	U6 地球市民としての抱負 U4 地域の一員としての防災 U3 絶滅危惧の動物
中2	U3 10年後の自分へ U0 春休みの思い出		U7 日本の世界遺産 U1 休日のプラン	U6 調査結果 U4 日本の習慣やマナー SA1 好きな日本食 U2 ご当地グルメ	SA3 ディスカッション U5 取り入れたい ユニバーサルデザイン
中1	SA3 思い出 U10 日記 U9 過去の出来事 U0, U1, SA1 自己紹介	SA2 好きな有名人 U6 キャラクター U5 友だち U3 知らない人やもの U2 身近な人やもの	SA2 自分の学校生活		U8 協力を呼びかけるポスター
小6	U8 夢ややりたいこと U7 小学校の思い出 U3 週末にしたこと U2 日常生活 U1 好きなもの、宝物		U4 世界の行きたい国		U6 世界とつながりのあるもの U5 世界が抱える問題
小5	U3 できること U2 誕生日、ほしいもの U1 名前や好きなもの	U8 憧れの人 U4 身近な人	U7 日本の素敵な場所		

○研究内容の具体②:インプットとアウトプットのバランスの取れた単元指導計画の作成

これまで、1つの単元で1つの領域しか単元の目標が設定されていなかった。これによって、教科書の内容理解の指導が弱くなったり、単元終末の活動に力を入れすぎたりするといったことにつながり得る。また、「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の5つのポイント」（岐阜県教育委員会（2025））では、1つの単元で、複数の領域を指導することが明記されている。

そこで、今年度は、すべての単元において、インプットの領域とアウトプットの領域において、単元の目標と評価規準を設定している。また、それぞれに対する評価問題を作成した。そうすることで、インプットとアウトプットのバランスの取れた力を育成する授業づくりにつながる「指導と評価の計画」を作成した。

○研究内容の具体③:「4つの学習過程」を意識した授業づくり

「令和5年度全国学力・学習状況調査 調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する 指導資料～学習過程を意識した授業づくり～」(国立教育政策研究所(2025))には、前回の全国学調の結果を踏まえて、言語活動を実施する際の学習過程の4つの事例が示されている。

いずれの事例の学習過程についても共通して言えることは、以下のようなことである。

- | | |
|-------|--------------------|
| 学習過程1 | 言語活動の目的・場面・状況を設定する |
| 学習過程2 | 言語活動に取り組ませる |
| 学習過程3 | ポイントを整理するなど、指導する |
| 学習過程4 | 再度、言語活動に取り組ませる |

すべての言語活動で、上の4つの学習過程を意識した授業の提案をする。

【参考資料】

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所（2020））
- ・「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の5つのポイント（岐阜県教育委員会（2025））
- ・令和5年度全国学力・学習状況調査 調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する 指導資料～学習過程を意識した授業づくり～（国立教育政策研究所（2025））

学習到達目標（令和5年度岐阜県小中英研作成）

	1年	2年	3年
聞くこと	関心のある事柄や日常的な話題について、はっきりと話されているボイスメッセージや商品の説明などの短い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話されているスピーチなどの内容に一貫性のある英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自然な口調で話されているアナウンスやディスカッションなどの情報量の多い英語を聞き、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
読むこと	関心のある事柄や日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた学校生活や物語文などの短い英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたスピーチや説明文、物語文などを挿絵やグラフなどを参考にして読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、世界情勢や歴史上の人物などについて書かれている情報量の多いまとまりのある英文を読み、必要な情報や概要、要点を捉えることができる。
話すこと「やり取り」	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、相手の発話に応じて、関連した質問や意見を述べたりするなどして、対話を継続させながら、即興で伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験などに基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実など、まとまった内容を整理して伝えた上で、伝えた内容に対する質問に回答しながら、対話を継続・発展させて伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の意見・主張とその理由などを、対話がより継続・発展するように、聞き手の理解の状況を確認しながら、相手からの質問に対して適切に回答したり、自ら質問を繰り返したりするなどして、工夫しながら伝え合うことができる。
話すこと「発表」	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いたりして、即興で話すことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の経験や他教科などで学習したことに基づいた事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、その理由なども踏まえて、まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、客観的な事実や様々な考えなどに基づいた自分の考えたことや感じたこと、その理由などを、経験したことの例示などとともに、聞き手の理解に応じて繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。
書くこと	関心のある事柄や日常的な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成したり、読み手に伝えたい内容を整理したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文の順序や内容などのつながりに注意したり、文章構成の特徴を意識したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、話題に対しての賛否や自分の意見を述べたり、その理由や根拠を明確に述べたりしながら、内容を整理して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。

事業部活動報告

文責 事業部長 濱 正人

1. 令和7年度活動方針

◎岐阜県小中学校英語研究部会事業部の活動を創造的・発展的に推進する

1. 令和7年度の岐阜県中学校英語弁論大会及び中学校英語スピーチコンテスト(地区大会)が円滑に進行できるよう企画・運営していく。
2. 教科書準拠のワークブックを現場の声や新学習指導要領の内容を踏まえ、岐阜県版として特色あるものにする。
3. 各郡市の代議員との連携を深め、事業部の活動へ生かしていく。

2. 高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会(中央大会参加対象者)の報告

地区	学校名	氏名	高円宮杯結果
岐阜	岐阜市立本荘中学校	富田 望羽	北部日本地区予選通過 決勝大会出場
岐阜	各務原市立稲羽中学校	長尾 実和	北部日本地区予選出場
西濃	池田町立池田中学校	河合 音杏	北部日本地区予選出場

3. 第45回岐阜県中学校英語弁論大会を振り返って

(1) 地区大会の参加状況(オープン参加生徒含む)

地区名	岐阜	西濃	美濃	可茂	東濃	飛騨	合計
参加人数	87	59	37	44	53	43	323
参加校	37	24	16	13	26	17	133
県大会出場者	14	9	6	6	8	7	50

(2) 県大会当日の主な日程【令和7年9月27日(土) 岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス】

時間(目安)	セミファイナル(午前)・ファイナル(午後)の流れ
午 前 の 部	8:15~8:50 ○実行委員及び審査員集合・打合せ (県教育委員会, 読売新聞支局長, 部会長, 大会長, ALT, 小中英研役員, 常任委員) 9:00~9:20 ○実行委員打合せ / 大会を始めるにあたり ・部会長あいさつ ・大会長あいさつ(審査員の紹介) ・審査の流れについて(事業部長) 9:30~10:00 ○生徒受付 10:00~10:15 ○開会式 10:30~11:45 ○セミファイナル開始 (司会進行: 大学生ボランティア / 審査: 教頭, ALT, 事業部常任委員) ・グループ A~E に分かれてセミファイナルを行う。 ○セミファイナル審査 / 昼食
午 後 の 部	13:10~14:20 ○ファイナル(審査: 審査員長: 至学館大学 山田 誠志教授 / 教頭先生 / ALT) ・最優秀賞3名 / 優秀賞 7名 15:00~15:30 ○表彰式・閉会式 16:00~ ・審査員長より(至学館大学教授 山田 誠志 様) ・読売新聞社より(岐阜支局長 深谷 敏之 様) ○大会を終えて ・ご指導 ・諸連絡(事業部長)

(3) 入賞者氏名

賞	地区	学校名	氏名	スピーチタイトル
最優秀賞	岐阜	岐阜市立本荘中学校	富田 望羽	Even If You Have Dementia
	岐阜	各務原市立稲羽中学校	長尾 実和	Hello Kitty Boy and Big Machine Girl
	西濃	池田町立池田中学校	河合 音杏	A Bite That Connects to the Future of Agriculture
優秀賞	岐阜	岐阜市立岐北中学校	ナワーズ マハローシュ	Are We Living or Just Scrolling
	西濃	大野町立大野中学校	伊東 翠桜	My Future Dreams
	美濃	関市立緑ヶ丘中学校	興津 寧々	Taming the Wild Waves
	美濃	関市立下有知中学校	山本 瑞姫	Omotenashi
	可茂	帝京大学可見中学校	泉 宗武	A New Mindset for Tomorrow
	飛騨	高山市立清見中学校	中村 こなつ	Human Observation
	飛騨	高山市立松倉中学校	加納 健	Facing My Weaknesses

(4) 審査員長 至学館大学 山田 誠志教授からのご講評

スピーチの目的は自分のメッセージを伝えることです。そのために大切なことの一つは、聞き手が知っている語句を極力多く用いることでしょう。やむを得ず難解な語句を使う場合は、その後に平易な語句で言い換えたり、説明する一文を入れたりするとよいと思います。

(5) 参加生徒の感想

やはり、ファイナルのステージは手が震えるほど緊張しました。しかし、大勢の前で自分の主張を聴いてもらえるのは嬉しいし、少し感動しました。私自身、この大会に出場するのは初めてだったのですが、中学校の英語の先生やALTの先生がたくさん支えてくれたおかげで頑張れました。また、同じ高山市から出場する仲間が頑張っている姿を見ると、自分も勇気が湧いてきました。このスピーチコンテストのおかげで私自身たくさん成長できたので、この大会に感謝しています。ありがとうございました。

(高山市立清見中学校 中村 こなつ)

3年間スピーチコンテストに出場しましたが、年を重ねるにつれて、緊張に強くなっている気がします。自分の思いを楽しんで伝えることのできる機会はあまりないので、楽しくスピーチできてよかったです。

(関市立緑ヶ丘中学校 興津 寧々)

4. 令和8年度に向けて

今年度も岐阜県教育委員会 義務教育課 藤田課長補佐をはじめ、部会長中村校長、大会長平田校長より御指導をいただき、岐阜聖徳学園大学羽島キャンパスにて開催することができました。ありがとうございました。スピーチ原稿集や申込関係書類をデジタル化したり、動画を提出していただいたり、手続きを簡易的なものにするなど、負担なく進めることができました。また、昨年度に引き続き至学館大学の山田誠志教授に審査員長をしていただき、より専門的な視点から審査をしていただきました。運営に関わっては、各地区大会及び県大会でお手伝いいただいた先生方や実行委員の先生方の柔軟な対応のおかげで、参加生徒にとって大変充実した大会を開催することができました。ありがとうございました。また、今年度は岐阜聖徳学園大学の大学生ボランティアにセミファイナルやファイナルの司会進行を依頼し、セミファイナルの審査を、事業部常任委員を含めた3名で行いました。来年度に向けて、課題点等については、今後の事業部で検討できるよう、引き継いでいきたいと考えています。今後も、よろしくお願いいたします。

5. 令和8年度スピーチコンテスト地区大会及び県大会の開催日と会場(予定)

地区・県	日時	会場
岐阜	8月18日(火)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス
西濃	8月中旬	場所未定
美濃	8月18日(火)	関市文化会館
可茂	8月18日(火)	広見地区センター
東濃	8月18日(火)	瑞浪市総合文化センター
飛騨	8月19日(水)	高山市民文化会館
県大会	9月26日(土)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス

6. 令和8年度の事業部の主な活動内容(予定)

・中学生英語スピーチコンテスト地区大会及び県大会の準備・運営

岐阜県小中学校教育研究会 小中学校英語研究部会

令和7年度 収支決算書

主務者 田中 大輔

監事 白橋 茂樹

橋本 文洋

会計 高木 勇希

◆収入の部

科目	金額	内訳
会費	566,680	¥620×914名
前年度繰越金	18,060	
県費補助金	70,000	助成金
雑収入	262	利息
計	655,002	

◆支出の部

科目	金額	内訳	
研究大会	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費		
	通信費		
	使用料及賃借料		
研究調査	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費	70,000	インク代、用紙代
	通信費		
	使用料及賃借料	42,550	会場使用料
	分担金	10,000	全英連分担金
	図書購入費		
成果刊行	消耗品費		
	印刷製本費	488,189	Ways of Teaching English
	通信費	24,882	Ways of Teaching English配送料
予備費	19,381	次年度当初会場費として	
計	655,002		

◆収支の部

収入	支出	収支
655,002	655,002	0

令和8年度 予算書

◆収入の部

科目	金額	内訳
会費	566,680	¥620×914名
県費補助金	210,000	助成金
前年度繰越金	19,381	
計	796,061	

◆支出の部

科目	金額	内訳	
研究大会	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費	50,000	
	通信費		
	使用料及賃借料	100,000	
研究調査	報償金		
	会議費		
	旅費		
	消耗品費	66,061	インク代、用紙代
	通信費		
	使用料及賃借料	45,000	会場使用料
	分担金	10,000	全英連分担金
	図書購入費		
成果刊行	消耗品費		
	印刷製本費	500,000	Ways of Teaching English
	通信費	25,000	Ways of Teaching English配送料
予備費			
計	796,061		

◆収支の部

収入	支出	収支
796,061	796,061	0

研究部・事業部の成果と来年度の活動計画案

主務者:田中 大輔(関市立下有知中学校)

【令和7年度の研究テーマ】

「できた・分かった」を実感しながら、
コミュニケーションに挑み続ける児童・生徒を育てる指導を求めて
～五領域における学習到達目標を明らかにし、
言語活動の中でその到達を実感させる指導・評価の一体化～

1 はじめに

【今年度のキーワード】

『また参加したい』と思える小中英研

- 英語科教員同士のつながりを感じられる交流
- 児童生徒に還元できる学びのある提案の検討

今年度における小中英研のキーワードを『また参加したい』と思える小中英研として、運営して参りました。Waysの作成、スピーチコンテストの開催や授業公開、各郡市での研究授業など、今年度小中英研を支えてくださいました関係者の皆様方に、この場をお借りしまして、心よりお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

研究部と事業部の活動について、以下に記します。詳細については、各部長より説明いたします。

2 研究部の活動

小学校部会

昨年度から、新しい教科書を使用している。県内では4つの教科書が扱われている。県内の先生方が指導する際に参考にできるようにしたいという考えのもと、指導と評価の計画と展開案を作成した。

・単元指導計画作成

- New Horizon Elementary 5 『Unit5 Let's go to the zoo.』
- Blue Sky elementary 6 『Unit1 I'm from Tokyo, Japan.』
- Junior Sunshine 6 『Lesson5 Where do you want to go?』
- Here We Go! 6 『Unit8 What do you want to be?』

どの教科書でも扱われている汎用性の高い話題や内容の単元を選択した。

・授業づくりに関わる Q&A 集

- Q1:単元指導計画の作成について Q2:外国語科のねらいの書き方
- Q3:ALTとの team teaching の方法 Q4:学ばせたい表現の input の仕方
- Q5:デジタル教科書の活用方法 Q6:よい学習課題の在り方 Q7:「話す力」を高める裏技

中学校部会

令和7年度は、中学校で新教科書を使用し始めた年である。そこで、新教科書での「指導と評価の計画」と「記録に残す評価」の作成に取り組んだ。その際、令和7～9年度の3か年ですべての単元を作成するとともに、令和8年度岐阜県大会や令和9年度東海北陸大会につながるように、今年度の活動に取り組んだ。

【各単元で作成したもの】

- ・指導と評価の計画・アウトプットの記録に残す評価・インプットに関わる記録に残す評価
- ・展開案 県大会公開の授業案のみ（1年 Unit7, 2年 Unit5, 3年 Unit5）

【研究内容】

- ①5年間の系統性を意識した指導と評価の計画の作成
- ②インプットとアウトプットのバランスの取れた「指導と評価の計画」の作成
- ③「4つの学習過程」を意識した授業づくり

○研究内容の具体①：5年間の系統性を意識した「指導と評価の計画」の作成

小中5年間の系統性を意識して「指導と評価の計画」の作成に取り組んだ。そこで、小学校部会と一緒に、各単元の言語活動を話題ごとに整理した。

○研究内容の具体②：インプットとアウトプットのバランスの取れた単元指導計画の作成

すべての単元において、インプットの領域とアウトプットの領域において、単元の目標と評価規準を設定した。また、それぞれに対する評価問題を作成した。

○研究内容の具体③：「4つの学習過程」を意識した授業づくり

- 学習過程1 言語活動の目的・場面・状況を設定する。 学習過程2 言語活動に取り組ませる。
学習過程3 ポイントを整理するなど、指導する。 学習過程4 再度、言語活動に取り組ませる。

すべての言語活動で、上の4つの学習過程を意識した提案を作成した。

3 事業部の活動

令和7年度活動方針

◎岐阜県小中学校英語研究会事業部の活動を創造的・発展的に推進する

1. 令和7年度の岐阜県中学校英語弁論大会及び中学校英語スピーチコンテスト（地区大会）が円滑に進行できるよう企画・運営していく。
2. 教科書準拠のワークブックを現場の声や新学習指導要領の内容を踏まえ、岐阜県版として特色あるものにする。
3. 各郡市の代議員との連携を深め、事業部の活動へ生かしていく。

今年度も岐阜県教育委員会 義務教育課 藤田課長補佐をはじめ、部会長中村校長、大会長平田校長より御指導をいただき、岐阜聖徳学園大学羽島キャンパスにて開催することができた。スピーチ原稿集や申込関係書類をデジタル化するなどの手続きを簡易的なものにするなど、負担なく進めることができた。また、昨年度に引き続き至学館大学の山田誠志教授に審査員長をしていただき、より専門的な視点から審査をしていただいた。運営に関わっては、各地区大会及び県大会でお手伝いいただいた先生方や実行委員の先生方の柔軟な対応のおかげで、参加生徒にとって大変充実した大会を開催することができた。また、今年度は岐阜聖徳学園大学の大学生ボランティアにセミファイナルやファイナルの司会進行を依頼し、セミファイナルの審査を、事業部常任委員を含めた3名で行った。

4 来年度(令和8年度)以降の見通し

- ・R8岐阜大会に向けた準備
- ・R9東海北陸公立学校英語教育研究会岐阜大会に向けた準備～運営・実践発表～

5 来年度(令和8年度)の活動計画(案)

4月18日(土) 第1回常任委員会及び第1回G長会

5月13日(水) 第1回代議員会(リモート開催)

5月16日(土) 第1回研究協議員会

6月18日(木) 第2回研究協議員会

8月 各地区でのスピーチコンテスト ※R8県統一研究日(8/18・19)

18日(火)岐阜地区 未定 西濃地区 18日(火)美濃地区

18日(火)可茂地区 18日(火)東濃地区 19日(水)飛騨地区

9月 5日(土) 英語弁論大会準備委員会(リモート開催)

9月26日(土) 第46回岐阜県中学校英語弁論大会 ※会場は、岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパスです。

10月22日(木) 第3回研究協議員会

11月12日(木) 岐阜県小中学校英語研究部会
岐阜大会

12月 5日(土) 第4回研究協議員会

1月 4日(月) 第2回G長会

2月24日(水) 第2回代議員会(リモート開催)

※ 日程は、現段階での案ですので、来年度に向けて変更の可能性がります。

※ 4月に常任委員会を開き、令和7年度の研究テーマと研究内容、事業部の活動について、正式に決定します。

5. 令和8年度スピーチコンテスト地区大会及び県大会について【開催予定日】

地区・県	日時	会場
岐阜	8月18日(火)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス
西濃	8月中旬	場所未定
美濃	8月18日(火)	関市文化会館
可茂	8月18日(火)	広見地区センター
東濃	8月18日(火)	瑞浪市総合文化センター
飛騨	8月19日(水)	高山市民文化会館
県大会	9月26日(土)	岐阜聖徳学園大学 羽島キャンパス

6 代議員の皆様へお願い

- ・代議員の皆様へ届いた Ways は、資料中にあります配付数一覧を参考に各学校へお配りください。
- ・Ways は会員がいない学校にも 1 冊配付いたします。
- ・Ways に過不足があった場合は関市立下有知中学校 (0575-22-3179) 田中までご連絡ください。
- ・新年度になりましたら、みなさんの元へ主務者より「新年度の代議員」と「研究協議員」を報告いただくメールが届きます。今年度の代議員である皆様が、期日までに報告いただくようお願いします。異動などで勤務地が変更になる方につきましては、同じ学校内でどなたかに引継ぎ、必ず報告が主務者のところまで届くようお願い致します。
- ・研究協議員と研究員は、兼務することはできませんので、郡市教研等で研究協議員を決定する際は、留意してください。
- ・R8 年度も平日開催 2 日間、土曜日開催 2 日間を予定しております。研究協議員を務めてくださる先生の所属する校長先生に、出張を許可していただくことが可能か確認をするようお伝えください。

【今後の研究大会(県大会・東海北陸大会)予定】

R8	R9	R10	R11	R12
岐阜大会	東陸北陸大会 (岐阜県大会)		西濃大会	

各郡市で、代議員や研究協議員は輪番で回しているところもあるかと思います。R8 岐阜大会では、岐阜地区の代議員や研究協議員の先生方に、研究や会場準備等でご協力いただくことがあります。

また、R9 東海北陸公立学校英語教育研究会 岐阜大会(東濃)では、パロー文化ホール(多治見市)を使用するため、東濃地区の先生方に、会場準備等のご協力をお願いさせていただくこともあります。そのため、引継ぎの際に、上記の旨を伝えるようにしてください。

皆様のおかげで、令和7年度における小中英研の活動が成り立ちました。1年間ありがとうございました。

令和7年度 学校別会員数一覧①(会員がいない学校にも1冊ずつWaysが属くようにしています)

学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数	学 校 名	会 員 数
岐阜小	2	岐阜清流中	3	八木山小	1	東小	2
明郷小	3	岐阜中央中	1	陵南小	2	西小	1
徹明さくら小	0	本荘中	1	各務小	0	北小	1
白山小	0	梅林中	1	蘇原第一小	2	笠松小	2
梅林小	3	加納中	4	蘇原第二小	4	松枝小	2
華陽小	1	長森中	8	中央小	3	下羽栗小	1
本荘小	3	長良中	3	那加中	4	岐南中	8
日野小	0	島中	0	桜丘中	2	笠松中	4
長良小	1	岩野田中	2	稲羽中	3	北学園	5
島小	1	精華中	4	鶉沼中	6	南学園	4
三里小	8	藍川中	3	川島中	3	興文小	1
鷺山小	2	三輪中	2	緑陽中	2	東小	4
加納小	3	岐北中	1	蘇原中	6	西小	7
加納西小	2	厚見中	3	中央中	6	南小	3
則武小	3	青山中	3	高富小	2	北小	1
長森南小	1	陽南中	2	富岡小	1	日新小	2
長森北小	1	藍川東中	3	梅原小	0	安井小	2
常磐小	1	藍川北学園	1	大桑小	0	宇留生小	1
木田小	0	岐阜西中	3	桜尾小	1	静里小	3
岩野田小	1	長森南中	0	伊自良南小	0	綾里小	2
黒野小	0	東長良中	5	伊自良北小	0	江東小	3
方県小	0	境川中	4	美山小	1	川並小	2
茜部小	0	草潤中	3	いわ桜小	1	中川小	6
鶉小	5	足近小	0	高富中	4	小野小	6
七郷小	0	小熊小	0	伊自良中	1	小荒崎小	2
西郷小	1	正木小	2	美山中	2	赤坂小	2
市橋小	2	竹鼻小	5	穂積小	4	青墓小	3
岩小	0	中央小	3	本田小	1	墨俣小	2
鏡島小	0	福寿小	0	牛牧小	4	興文中	3
厚見小	2	堀津小	1	生津小	7	東中	8
長良西小	2	中島小	1	南小	2	西中	3
早田小	5	羽島中	3	中	3	南中	3
且格小	0	竹鼻中	5	西	2	北中	4
芥見小	2	中央中	3	穂積中	6	江並中	3
合渡小	2	中島中	2	穂積北中	4	赤坂中	1
三輪南小	2	桑原学園	3	巢南中	4	西部中	6
三輪北小	2	那加第一小	1	本巢小	2	星和中	6
網代小	1	那加第二小	1	外山小	0	上石津学園	3
城西小	0	那加第三小	0	弾正小	2		
長良東小	3	尾崎小	2	真桑小	3		
長森西小	0	稲羽西小	1	席田小	1		
芥見東小	0	稲羽東小	0	土貴野小	1		
岩野田北小	0	川島小	1	一色小	0		
長森東小	3	鶉沼第一小	4	本巢中	2		
柳津小	3	鶉沼第二小	3	真正中	3		
岐阜大学教育学部 附属小中学校	4	鶉沼第三小	2	系貫中	3		
		緑苑小	0	根尾学園	3		

令和7年度 学校別会員数一覧③(会員がいない学校にも1冊ずつWaysが届くようにしています)

	学 校 名	会 員 数		学 校 名	会 員 数		学 校 名	会 員 数		学 校 名	会 員 数		
加茂郡	蘇原小	1	土岐市	肥田小	4	中津川市	苗木小	3	高山市	日枝中	4		
	黒川小	1		泉小	3		坂本小	0		松倉中	4		
	佐見小	0		泉西小	1		落合小	0		中山中	2		
	東白川小	0		土岐津中	2		阿木小	1		東山中	2		
	坂祝中	1		西陵中	2		神坂小	0		丹生川中	1		
	川辺中	3		濃南中	1		山口小	1		清見中	1		
	七宗中	1		駄知中	1		坂下小	0		宮中	1		
	八百津中	3		肥田中	1		川上小	1		久々野中	1		
	八百津東部中	1		泉中	5		加子母小	0		朝日中	1		
	白川中	1		瑞浪小	4		付知北小	1		国府中	3		
可見郡	黒川中	2	瑞浪市	土岐小	1	付知南小	0	北稜中	1	飛騨市	北川さくら学園	2	
	東白川中	1		陶小	1	福岡小	0	荘川さくら学園	2		古川小	2	
	上之郷小	0		稲津小	0	蛭川小	0	古川西小	0		河合小	1	
	御嵩小	2		明世小	1	第一中	2	宮川小	0		神岡小	2	
	伏見小	1		日吉小	1	第二中	3	古川中	3		神岡中	2	
	上之郷中	1		釜戸小	0	苗木中	3	山之村小中	1		萩原小	1	
	向陽中	3		瑞浪中	3	坂本中	4	宮田小	0		尾崎小	2	
	共和中	2		瑞浪南中	2	落合中	3	小坂小	0		下呂小	2	
	養正小	1		瑞浪北中	3	阿木中	1	下呂小	2		竹原小	1	
	多治見市	精華小		4	恵那市	中野方小	0	神坂中	2		上原小	0	金山小
共栄小		2	恵那北小	1		坂下中	1	馬瀬小	1	萩原南中	4		
昭和		2	飯地小	0		加子母中	1	萩原北中	1	小坂中	1		
小泉		5	武並小	0		付知中	1	下呂中	2	竹原中	2		
池田		0	長島小	3		福岡中	1	金山中	2	白川郷学園	1		
市之倉		0	大井小	1		蛭川中	0	岐阜聖徳学園 岐阜聖徳附属 岐阜希望が丘 岐阜特別支援	0	岐阜聖徳学園 岐阜聖徳附属 岐阜希望が丘 岐阜特別支援	0		
滝呂		2	東野小	2		東小	1						
南姫		0	大井第二小	2		西小	1						
根本		1	三郷小	0		南小	1						
北栄		2	岩邑小	1		北小	4						
土岐市	脇之島	1	中津川市	山岡小	0	高山市	山王小	1	飛騨市	萩原南中	4		
	笠原	3		明智小	3		江名子小	2		萩原北中	1	小坂中	1
	陶都	5		串原小	0		新宮小	1		下呂中	2	竹原中	2
	多治見	4		上矢作小	1		三枝小	0		金山中	2	白川郷学園	1
	平和	3		恵那西中	4		岩滝小	1					
	小泉	4		恵那東中	4		花里小	1					
	南ヶ丘	3		恵那北中	1		丹生川小	0					
	北陵	3		岩邑中	2		清見小	0					
	南姫	1		山岡中	2		宮小	0					
	笠原	3		明智中	1		久々野小	1					
土岐市	土岐津	1		串原中	1	朝日小	0						
	下石	2		上矢作中	2	国府小	1						
	妻木	2		南小	4	本郷小	0						
	濃南	1		東小	1	栃尾小	0						
				駄知小	1								

令和8年2月吉日

県内中学校
英語科主任 様
英語担当者 様

岐阜県小中学校英語研究部会
部会長 中村 行雄

岐阜県版英語教材についてのお願い

平素は本研究部会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
本研究部会では、2026年度用英語教材として「岐阜県版 ニュー・アプローチ」
「岐阜県版 絶対評価プリント」「岐阜県版 ニュー・スタディノート」を発行して
おります。これらは授業における指導事項を考慮し、岐阜県内の先生方からの意見・要
望をもとに編集したものです。

「岐阜県版 ニュー・アプローチ」は、基本文を繰り返し学習し、基礎・基本を定
着できる構成になっています。

「岐阜県版 絶対評価プリント」は、観点別評価に適したプリント教材で、単元ご
との評価に役立ちます。また、「思考力・判断力・表現力」の評価に特化したテストに
も取り組むことができます。

「岐阜県版 ニュー・スタディノート」は、基本的な学習習慣の確立と基礎基本の
定着に役立つように意図された英語ノートです。

つきましては、岐阜県内で学ぶ中学生の英語学習の一助に、岐阜県内の先生方の意
見・要望が反映されたこれらの教材を検討していただくようお願いいたします。

- | | | |
|---|-----------------------|--------------|
| 1 | 岐阜県版 ニュー・アプローチ (本誌のみ) | 定価690円 (税込み) |
| 2 | 岐阜県版 絶対評価プリント | 定価550円 (税込み) |
| 3 | 岐阜県版 ニュー・スタディノート | 定価300円 (税込み) |

《問い合わせ先》

岐阜県小中学校英語研究部会
事務局 田中 大輔

(関市立下有知中学校 TEL0575-22-3179)